

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	防災訓練は定期的実施されているが、消防本部の方に来て頂いて、訓練状況を確認して頂くことは最近行われていない。又、災害対策の部分で、ご家族様への車椅子操作方法などの伝達や講習会の場が出来ると、さらに災害対策について意識が高まり、実際の救助に役立てられるのではないかと。	①防災訓練の際に、消防本部の方に来て頂き、ご指導を頂く。 ②運営推進会議で、ご家族様へ向けての介助方法などの伝達講習会の場を設ける。	①9月に防災訓練を行い、消防本部の方をお招きし、地震津波訓練を行った。今後も、定期的な訓練とは別に、年に1回は消防本部の方に来て頂き、防災訓練を行うようにする。 ②11月又は1月の運営推進会議の中で、講習会の場を設ける。	4ヶ月
2	1	現在のグループホームの理念は、5年前に作られたものであり、その時々に応じて、理念の見直しも必要である。	①理念について振り返る機会を設け、現在のグループホームに応じた、新たな理念を構築する。	①10月～12月の間に、理念について話し合いの場を設ける。 ②平成29年1月～3月にかけて、新たな理念を構築し、平成29年4月より、新しい理念の基で利用者様に寄り添った支援ができるようにする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。